

基礎工学研究科 材料工学専攻

人材育成に関する目的  
 本学ホームページに掲載。  
[https://www.tus.ac.jp/disclosure/grad\\_aim/](https://www.tus.ac.jp/disclosure/grad_aim/)

カリキュラム・ポリシー  
 本学ホームページに掲載。  
[https://www.tus.ac.jp/fac\\_grad/grad/policy/kiso\\_mat.html](https://www.tus.ac.jp/fac_grad/grad/policy/kiso_mat.html)

分野 科目群で身につける能力  
 必修科目 材料工学の専門分野を中心に実験・解析方法、さらに研究成果を発表する方法を学び、材料工学分野で自ら課題を発見・解決し、かつ研究成果を正確に表現できる能力を身に付けます。

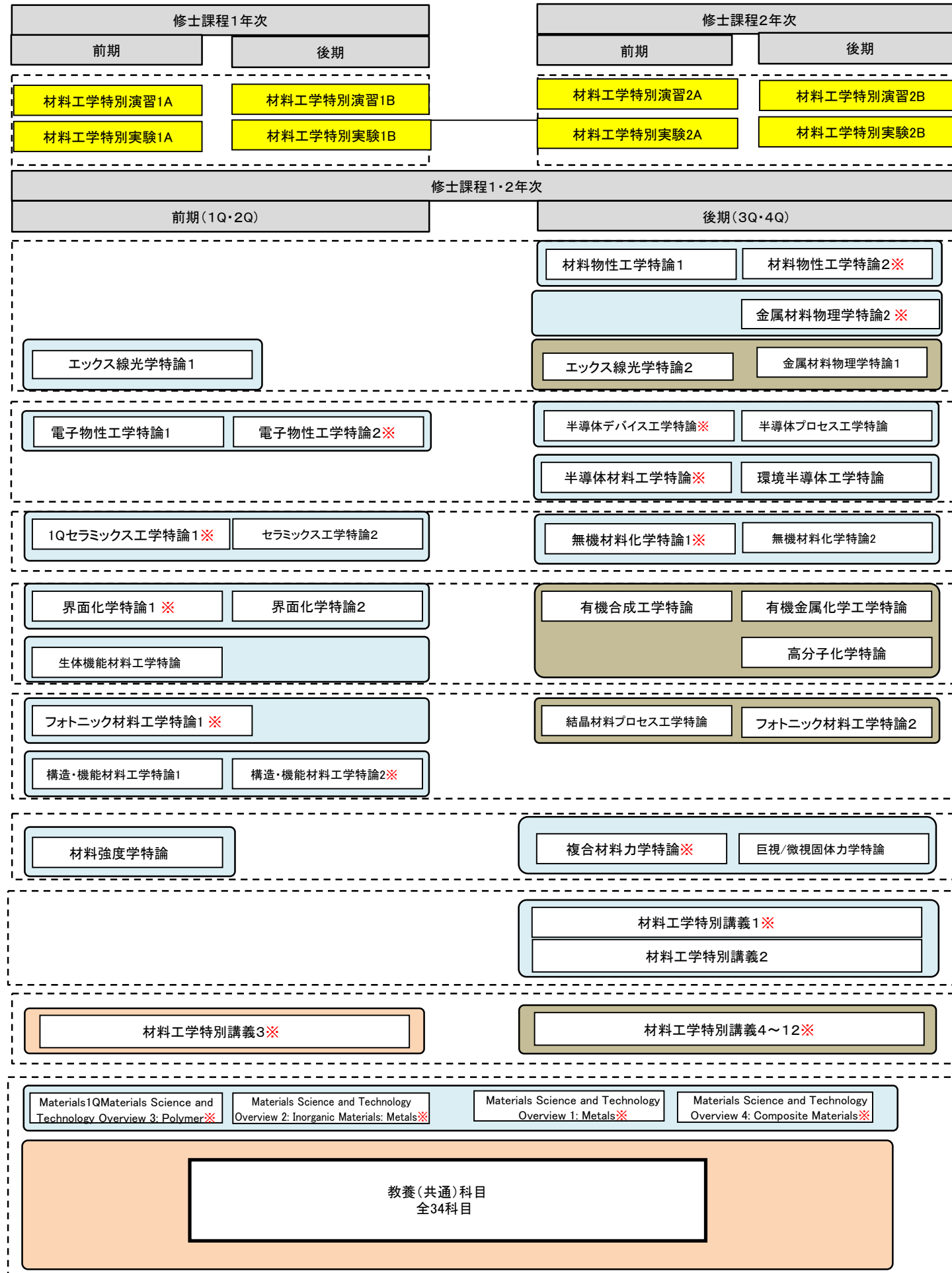
材料物性工学  
 半導体材料工学  
 無機材料工学  
 有機材料工学  
 材料プロセス工学  
 システム材料工学

学士課程において修得した、材料工学の幅広い分野の専門的知識、材料合成、測定や解析技術を基礎として、自ら課題を発見し解決するために必要な、高度な専門性を有する研究開発能力を身に付けます。

そのために、6分野の講義を隔年開講し、また修士課程1年・2年のどちらでも履修できるように、科目が設定されています。

共通科目 上記の必修・選択科目の内容では網羅されない材料工学の様々な分野の講義を履修し、従来の材料工学の枠組みにとられない幅広い専門分野の問題発見・解決能力の向上を目指します。  
 その中で、特に学際領域や人間の感性に関わるような科学・工学分野の講義を履修し、社会と科学技術分野を繋ぐコミュニケーション能力を身に付けます。

教養(共通) 幅広くかつ深い学識を涵養する授業科目、コミュニケーション能力・倫理観・国際性等を養う共通教養科目



必修科目  
 2科目を交互に隔年開講する選択科目のグループ  
 毎年開講する選択科目のグループ  
 2019年度は開講しない選択科目のグループ  
 ※ 開講時期は年度により異なることがある